

栃木県経営品質賞知事賞表彰式で考える

—経営品質賞が目指すものとは—

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 今日は、4月25日(木)に宇都宮グランドホテルで行われました「栃木県経営品質賞」の表彰式のお話をさせていただきます。
3. 栃木県経営品質賞というのは経営品質向上を目指す賞のことです。4月25日は、福田富一栃木県知事がいらっしゃって、今年の栃木県経営品質賞知事賞を表彰されました。福田富一知事から直接表彰を受けたのは、栃木県小山市に本社のある「アクリーグ」という会社の社長、磯山左門さんでした。この「アクリーグ」という会社は、情報処理や画像計測、物流・観光関係、農政調査、都市計画、土木関係、防災のゲリラ豪雨対策の地図作りなど、環境や景観に関する様々な仕事をなさってられます。このように4月25日には経営についての品質を上げようと栃木県小山市の「アクリーグ」という会社の方々が取り組んで知事賞を授与され、福田知事が表彰しました。
4. 表彰式のあと、アクリーグの磯山社長から、どのように経営品向上の取り組みをしているのかの講演がありました。その内容は、企業を100年継続させるための土台づくりをしたい。経営者としてのリーダーシップを発揮したい。経営における社会的責任を追求したい。少し難しいお話ですが、お客様やマーケットとは何かを理解し、その上で戦略を立てて個人と組織の能力を向上させ、お客様の価値を創造させようという価値創造を図っています。最終的には、情報をマネジメントして立派な経営をしよう、そして100年続く企業を目指そうという講演でした。素晴らしい講演の内容でした。
5. 開倫塾は、同じ知事賞を10年前の2002年に受賞しました。10年前に知事賞を受賞した企業は活動報告をするようにとのことでしたので、この表彰式の後半で、開倫塾の経営品質の取り組みについて発表させていただきました。私も10年ぶりの報告でしたので非常に緊張しました。その内容について少しお話をさせていただきます。
6. 一番大事なことは「理念」、つまり経営の中で大切にすること「価値観」を定めておくことが大事だと私たちは思っています。これはあまり聞き慣れないお話かもしれませんが、「経営理念」、つまり、価値として大切にすることを自分たちでよく磨き込んで、社員の間で、また、お客様の間で理解していただいて経営をしようということです。

7. 私たちは大切なものは4つあると考えています。まず1つ目は「顧客本位」、つまりお客様を第一に考えるということです。開倫塾の場合のお客様とは、塾生、保護者、地域社会です。塾生、保護者、地域社会という開倫塾のお客様のために何ができるのかということを中心に考えています。
8. 2つ目は、「独自能力」が大事だと考えています。自分でものごとを考えて、ほかの真似をしない、そして自分自身で独自のことをやるのが大事だと思っています。ただ、自分でいろいろなことを考えると、世の中には素晴らしいことをやっている方が山ほどいらっしゃいます。ですので、ベストプラクティスのベンチマーキングをしてから自分たちの頭で考えようと思っています。ベストプラクティスのベストは、最良の・一番よいという意味です。プラクティスは実際にやっている事柄のこと、ベンチマーキングはこれを素直な心で学び取るということです。
9. では、最良なことを実際にやっている方がどこにいらっしゃるのかというと、実は身近なところにいるのです。社内、つまり同じ企業の中にもいるのです。おかげさまで開倫塾は60か所に校舎があり、社員は440名います。その社員の中で素晴らしいことをやっている方から学ばせていただくのです。また、学習塾という業界は全国に5万以上もあります。その5万の中には素晴らしいことをやっている学習塾が山ほどありますので、その中から勉強をさせていただく。つまり、同業他社からベストプラクティスを学ばせていただくのです。さらに、異業種、違う業種でも素晴らしい成果を上げている会社は山ほどありますので、そこからも学ばせていただく。つまり、社内と同業他社、異業種のベストプラクティスを勉強させていただき、それを踏まえた上で自分でものごとを考える。開倫塾では、独自能力をこのように考えています。
10. この番組の中でたびたびお話している、「勉強を3つの段階に分けて、『理解し定着させて応用しよう』」というのは開倫塾独自でやっている取り組みの1つですので、もっともっと磨き込んでいきたいと思っています。
- 繰り返しますと、経営理念の1つ目は「顧客本位」、2つ目は「独自能力」です。更(さら)に、お客様も大事ですが、お客様にサービスをする社員の方も大事ですので、3つ目は「社員重視」ということを考えています。社員重視で一番難しいのは雇用の維持です。社員の中から失業する方を少しでもなくしたいので、雇用の維持を目的にしたいと思っています。どの方にもずっと長く社員として働いていただきたいと思います。やはりそのためには雇われる能力「エンプロイアビリティ」が必要です。その雇われる能力を強化していただいた上で、権限を大幅にその方にお譲りしたいと思っています。能力強化することと権限委譲することを英語でエンパワーメントといいます。エンパワーメントを大切に、社員の皆様には各自の潜在能力を顕在化するよう様々な仕事をやっていただきたいと思います。
11. 私は代表者ですので、代表者としての能力を磨き込んでいきたいと思っています。また、各校舎の校長先生が60名いますので、校長先生は校長先生としての能力を磨いていただきたいと思います。そして、階層ごとの雇われる能力を磨き込んで、最終的には、各自の潜在能力を自分の力で発見し、開倫塾の中での様々な仕事を通して思いきってやっていただきたいと思います。

12. 最後の4つ目は「社会との調和」です。法令を守る。社会貢献活動を推進する。企業としての社会的責任を果たす。そして、最終的には社会の問題を解決する企業、つまり社会的企業を開倫塾は目指したいと思います。
13. 以上のように、開倫塾では、経営の基本理念を「顧客本位」と「独自能力」、「社員重視」、「社会との調和」だと考えています。これは経営品質の基本的な考えで、知事賞をいただいてから10年間このようなことをやらせていただいている。このような発表させていただきました。
14. 今日は、4月25日に宇都宮グランドホテルで行われました「栃木県経営品質賞」の表彰式がありましたので、そのお話をさせていただきました。皆さんもぜひお考えいただければと思います。

— 2013年9月6日加筆・訂正、林明夫 —